

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・10〉 いわき市立 四倉 中学校
<実施日> 平成 28年 1月 28日 (木)	
<実践教科等> ※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 ① 理科 ② 学級活動 ③ 総合的な学習の時間 ④ その他 ()	
<実践内容>	
導入 1 放射線についてどう思うか？イメージは？知っていることは？ 10分間：ワークシートへの自由記入→班での話し合い→全体発表	
展開 2 原子力と放射線について理解しよう。 30分間：資料と教師の説話→ワークシートへの記入 (1) 原子力とは何か。 (2) 放射性物質と放射能と放射線について (3) 被ばくについて（外部、内部） (4) 放射線単位について（ベクレル、シーベルト） (5) 自然放射線について (6) 放射線の利用について	
終末 3 放射線の功罪について 10分間：教師の説話と感想 (1) 放射線の健康被害について (2) 放射線の利用について (3) 放射線との付き合い方と感想の発表	
<成果> 放射線について正しい知識と情報を伝えることで、間違った恐怖心から解放し、身の回りに多く存在することと平和的に正しく利用されていることを理解させることができた。そのうえで、健康被害を受けないように注意深く生活していく意識を提示することができた。	
<課題> できるだけ専門的知識を持った人から、より正確で正しい情報の提供が必要だと感じた。マスコミによる感情的な嫌悪感が強く強調され、有益な部分の役割が正しく伝わりにくい状況にあると感じる。	
資料作成担当者職（教諭）氏名（日塔真一郎）	学校電話番号（32-2305）

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。
(送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)